

4月13～15日 原大沢地区 福寿草まつり

恒例となりました原大沢地区の福寿草まつりが開催されました。今年で、第14回を迎えるこのおまつりは、福寿草の見頃の4月中旬に開催されるもので、今年は、和敬会によるギター演奏や、恒例の鬼島太鼓、屋台など、来場者を魅了する催し物が多く開催されました。

メインの14日には、特に多くのお客様が来場され、会場となった御魂山公園は大賑わいでした。



4月2日 金沢大と糠千区で協定を締結

4月2日、糠千公民館において、これまでの農村版大学コンソーシアムなどでの取り組みから、金沢大学地域連携推進センターと木島平村糠千区が、これから集落づくりをともに取り組む「域学連携協定」を締結しました。

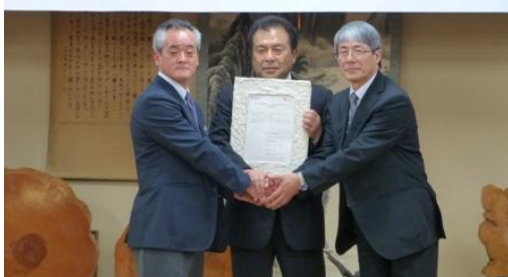
当日は、金沢大学から、横山地域連携推進センター長はじめ5人の先生方と、リピーターとなった5人の学生が参加。集落の方が見守る中、横山センター長、外山健一糠千区長、後見として芳川木島平村長の3者で調印が行われました。

調印後、協定締結を祝い、参加者約40人で懇親会を開催。これからの集落づくりについての話に、花を咲かせました。

大学機関と糠千区のような小さな集落との協定は、大変珍しい取り組みです。今後、大学生と集落が一緒に取り組む「協働プロジェクト」を共に作成し、取り組む予定です。



地域連携推進センター・長野県木島平市
域学連携協定調印式



会報原稿募集中!

郵送・FAX・メールいずれかの方法でお願いします。

【送付先】〒389の2392 木島平村役場内 ふるさと応援団事務局

fax 0269の82の4121 ☐ kicho@kijimadaira.jp まじ

木島平村農村文明塾への勧め

ふるさと応援団木島平会 役員 T K

平成24年度において、農村文明塾が五つのテーマで農村学講座が開催された。

このうち、第一回の「農村の環境を生かした高齢社会の暮らしを考える」と、第二回の「奥山の自然と恵みを考える」の二つの講座を受講させていただいた。受講した二つの講座の概略を少々紹介させていただく。第一回の講座の一日目は、東京大学名誉教授の大森彌先生による記念講演「超高齢社会を生きる―尊厳の確保と自立支援」、実践報告として、下高井農林高校生による園芸福祉活動、夕方からは郷の家で郷土料理による交流会が開催された。二日目は、現地研修として「デイスサービスセンター」と「望岳荘」の視察を行った。



第二回の講座の一日目は、カヤの平において信州大学名誉教授の中村浩志先生による「ブナの森と自然の生き物たち」の講義と散策、中村先生とのお話し会、そのあと実習として下高井農林高校生等の指導により「ブナの稚苗を使ってブナ便づくり」に挑戦した。夕方からはカヤの平キャンプ場にてバーベキューによる交流会が開催された。このあと20時から現地研修として、フクロウ、ヒメネズミの観察会があり、当日はロッジに宿泊した。二日目は、雨天のため早朝の野鳥観察は中止となったが、NPO法人による「里山の機能と価値―生物多様性社会を知る」の報告会と平沢地区のNPO法人ラポーザ圃場を見学した。

この講座の受講を通じて今まで知り得なかった自然豊かな残る

農村学講座の年次計画

第1回	7月21日(土)、22日(日)
第2回	8月24日(土)、25日(日)
第3回	9月22日(日)、23日(月)
第4回	11月15日(土)、16日(日)
第5回	12月7日(土)、8日(日)

※ 講座の内容は、会報を通じてお知らせします。

農村文明塾事務局が移転しました！

旧南部小学校を改修した「木島平村農村交流館」1Fの事務室内に農村文明塾事務局を移転しました。

移転後の連絡先等は次のとおりです。

電話&FAX 0269-82-2041

メール: kijimadaira@nousonbunmei.jp



村の良さと、「協働の村づくり」への村の取組が実践できたことは多大な収穫であった。また、交流会においての、村の方々との楽しい会話ができたこと、郷の家で郷土料理に舌づ積みを打ち美味しかったこと、キャンプ場でのバーベキュー・キャンプファイヤーなど懐かしい一時でありました。ご協力くださった村の方々に感謝を申し上げます。

今年度も農村文明塾の農村学講座等のイベントが(次のとおり)計画されております。会員の皆様におかれましては帰郷の際等に合わせて是非参加され、故郷の良さをもう一度体験・実感されるのも一考ではないかと思ってお勧め申し上げる次第です。